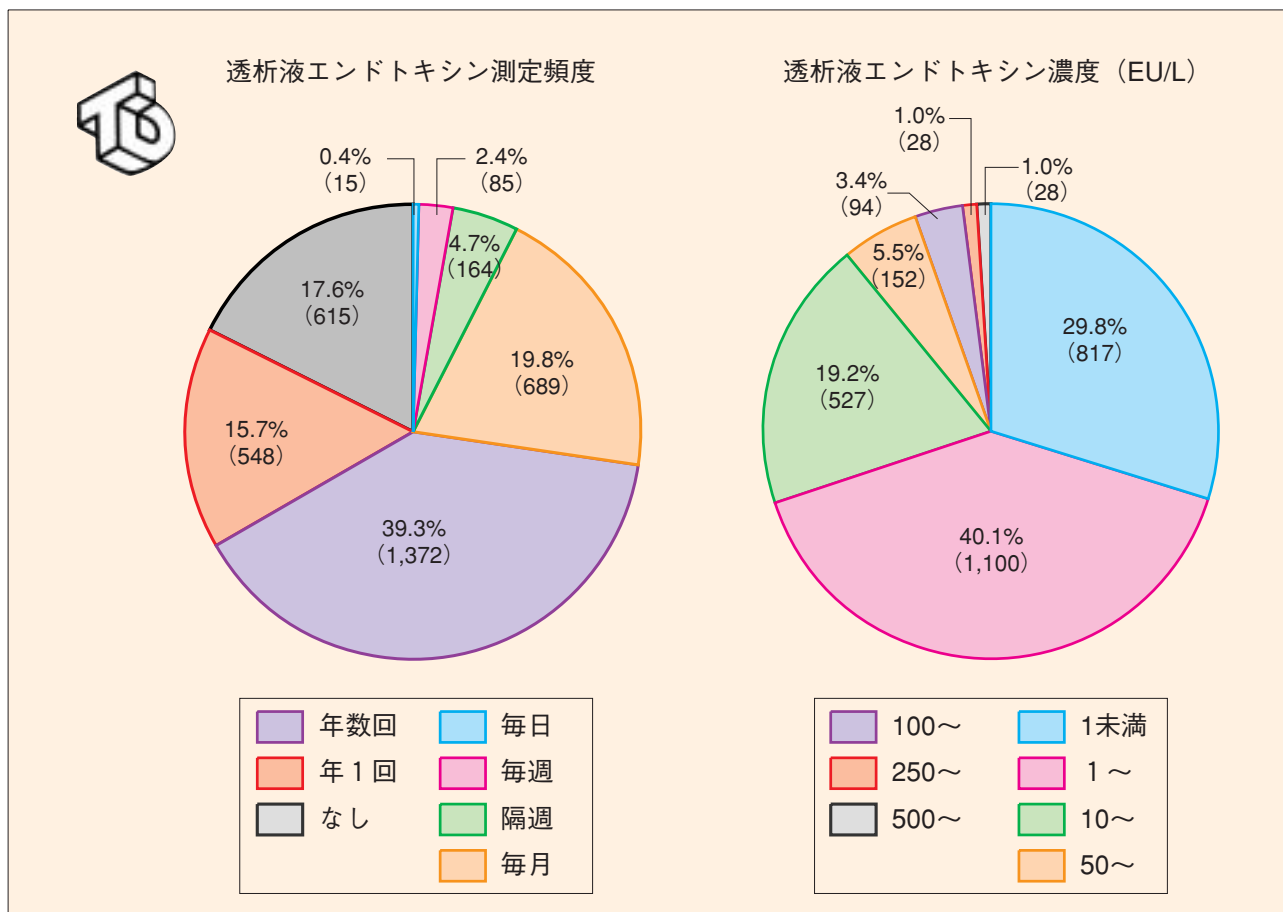


# 1) 透析液水質管理状況

## (1) 透析液エンドトキシン検査 (図表22)



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載無し	総計
施設数	15	85	164	689	1,372	548	615	3,488	185	312	3,985
頻度 (%)	0.4	2.4	4.7	19.8	39.3	15.7	17.6	100.0			

透析液エンドトキシン濃度 (EU/L)	1未満	1~	10~	50~	100~	250~	500~	合計	記載無し	総計	平均	標準偏差
施設数	817	1,100	527	152	94	28	28	2,746	1,239	3,985	41.07	344.10
頻度 (%)	29.8	40.1	19.2	5.5	3.4	1.0	1.0	100.0				

### 解説

透析液エンドトキシン測定頻度は3,488施設から回答が得られ、これはアンケートシートI回収施設3,985施設の87.5%にあたる。透析液エンドトキシンの測定は3,488施設の82.4%の施設において施行されていた。月1回以上の測定を行っている施設は27.3%、年複数回の測定は66.7%の施設で行われていた。

透析液エンドトキシン値は2,746施設から回答があった。2004年の日本透析医学会の管理基準である透析液エンドトキシン濃度50EU/L未満は2,746施設の89.0%の施設で達成、検出限界以下も29.8%の施設で達成されていた。エンドトキシン測定を行っていない施設を含めた3,488施設を母集団にすると、それぞれ70.1%、23.4%に相当する。1999年の本会の調査と比較すると、アンケートの回収率、エンドトキシン測定施設の割合も格段に高く、50EU/L未満の達成率は76.0%から89.0%に増加しており、我が国の透析液は1999年より清浄度が高くなっている。